



たらぎ議会だより

こだま



P2 正副議長挨拶

P4 補正予算 多良木学園改築工事請負契約締結

P6 8議員が町政を問う

P12 国会陳情



平成23年
6月定例議会

No.82

うまい米作るぞ!! (多小5年生)

熊本県多良木町議会発行

新たな14人の議員！



是々非々の精神を貫く

議会議長 鍋田 清高

梅雨が明け、暑い日々が続きますが、町民の皆様にはご健勝のことと存じます。

去る三月十一日に発生しました世界の観測史上四番目となるマグニチュード9.0の東日本大震災、津波、東京電力福島第一原発災害により、未曾有の被害に遭われました多くの方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、一刻も早い復旧・復興を衷心より願っています。さて、五月の初議会におきまして、議員の皆様のご推挙により、栄えある多良木町議会議長に就くことになり身に余る光栄であり、また責務の重大さを痛感いたしております。

今、多良木町は今年度を初年度とする「第五次総合開発計画」に基づいて将来の地域づくりを目指しています。議会としましては、町民の皆様の負託に応えるために、議員の皆様とともに「開かれた議会」を目指したいと思います。そのためには、議会活動の過程開示や映像化による「情報公開」、本会議の傍聴や住民報告会の開催による「住民参加」、また議会権限の確立や質疑形式の見直し、運営ルールの整備等による「議会機能の強化」などを目指したいと考えています。また議会は議論をする場所です。議論を大に行い、最終的には合意形成となります。そのためのプロセスを大切に、是は是、非は非として、是を伸ばし、非を直していくようなことを基本として考え、取り組みたいと思います。町民の皆様には、これまで同様、議会に對しまして深いご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。議長就任の挨拶といたします。

暑中お見舞い申し上げます。

去る五月の臨時議会にて副議長に就任させて頂くことになり、改めて責任の重さを痛感しております。

ご承知の通り、地方自治を取り巻く環境は厳しいものがあります。町民の皆様の中には、議員の役割や活動が見えにくい、故に定数や報酬に厳しいご意見を頂いています。

皆様に納得いただく仕事として引き締め、議会としての二元代表制の機能を十分に発揮出来るよう、自己研鑽し、より積極的に町づくりの提案に努め、責任と誇りを持って町政の発展のため、議長を支え頑張る所存です。今後共よろしくお願い致します。



責任と誇りを持った議会に

議会副議長 瀬崎 哲弘

多良木町の未来を託す

委員会構成

※ ◎ 委員長
○ 副委員長

厚生文教常任委員会



- ◎ 中村正徳
- 久保田悦子
- 瀬崎哲弘
- 村山昇
- 皆越秋廣

総務常任委員会



- ◎ 森下孝幸
- 坂口幸法
- 鍋田清高
- 高橋裕子

議会広報調査特別委員会



- ◎ 瀬崎哲弘
- 坂口幸法
- 吉瀬浩一郎
- 魚住憲一
- 村山昇
- 高橋裕子

経済建設常任委員会



- ◎ 山中馨
- 福島典生
- 坂本一郎
- 吉瀬浩一郎
- 魚住憲一

議会運営委員会

- ◎ 森下孝幸
- 山中馨
- 中村正徳
- 久保田悦子
- 吉瀬浩一郎
- 高橋裕子

一部事務組合議会・監査委員等構成一覧表

一部事務組合議会等名	議 員 名				
球磨郡公立多良木病院企業団	中村正徳	久保田悦子	吉瀬浩一郎	魚住憲一	皆越秋廣
人吉球磨広域行政組合議会	瀬崎哲弘	福島典生	高橋裕子		
上球磨消防組合議会	坂本一郎	村山昇			
川辺川総合土地改良事業組合議会	山中馨				
監 査 委 員	坂口幸法				
農 業 委 員	森下孝幸				

多良木学園改築工事請負契約を締結！

契約の総額 1億2千285万円(うち取引に係る消費税額 585万円)

平成23年第5回定例会は、6月10日から17日までの8日間開催され、報告2件、契約等1件、同文議決1件、補正予算4件、選任同意1件が提案され慎重に審議した結果、原案どおり可決しました。

また、一般質問には8名が登壇し、町長の考えを質しました。

平成23年度
補正予算

一般会計補正予算は、7千818万円を追加し
総額を60億1千418万円とする

《 歳出の主なもの 》

☆ 東日本大震災人的支援費 ----- 236万円
〈 東松島市へ事務補助6名・南三陸町へ保健師2名 〉

☆ 県営大久保地区畑地帯総合整備事業 ----- 550万円

☆ 県営経営体育成基盤整備事業 ----- 450万円

〈 多良木第一地区 〉



県営大久保地区畑地帯



中学校舎1階廊下

☆ 中学校舎廊下・階段床改修工事 ----- 900万円

☆ 農業出資型農業生産法人補助 ----- 498万円

☆ 多良木小学校屋外整備工事 ----- 881万円



多良木小学校屋外整備工事

《 特別会計補正予算 》

上水道事業会計(総係費) ----- △541万円

下水道事業 ----- 47万円

後期高齢者医療 ----- 39万円

熊本県市町村総合事務組合規約の一部変更について

熊本県市町村総合組合「玉名市玉東町病院組合」を「公立玉名中央病院企業団」に、「球磨郡公立多良木病院組合」を「球磨郡公立多良木病院企業団」に改める。

地方自治法第290条の規定により、議会の議決がされました。

審査会委員選任される

多良木町情報公開等審査会委員が平成23年6月30日をもって任期満了となりますので、定例議会にて下記の委員の方の選任に全会一致で同意しました。

氏名	住所	概要
合志洋一	熊本県球磨郡多良木町大字黒肥地	再任
那須律子	熊本県球磨郡多良木町大字多良木	再任
又江原進	熊本県球磨郡多良木町大字多良木	再任
酒井豊美	熊本県球磨郡多良木町大字多良木	再任
吉川敏朗	熊本県球磨郡多良木町大字久米	再任
岸川幸江	熊本県球磨郡多良木町大字奥野	新任
岩崎康子	熊本県球磨郡多良木町大字多良木	新任

繰越明許費

(※ 22年度から23年度へ繰越される予算)

- きめ細かな交付金事業 ----- 63,428,000円
- 多良木学園改築整備事業 ----- 190,313,000円
- 集落道路整備事業 ----- 9,500,000円
- 町道湯原線整備事業 ----- 19,800,000円
- 町道赤松線整備事業 ----- 4,200,000円
- 町道永原線整備事業 ----- 48,183,000円
- 追加経済対策事業 ----- 34,840,000円
- 小学校改築補強事業 ----- 68,317,000円

8人が町政を問う

～ 全ての質問事項 ～

1. 皆越秋廣議員（6ページ）

- ① 農林業の具体的な振興策について
- ② 若者が住みやすい環境づくりについて
- ③ 税の収納対策について
- ④ 川辺川総合土地改良事業組合の運営について
- ⑤ 職員の人事、研修について
- ⑥ 町民座談会について

2. 村山昇議員（7ページ）

- ① 21世紀のまちづくりを目指して「第四次多良木町総合開発計画」について
- ② 健康で、明るく、住みよい、誇りの持てるまちづくり「第五次多良木町総合計画」の基本構想、基本計画、実施計画についての町長の取り組む姿勢について
また、具体策について

3. 高橋裕子議員（8ページ）

- ① 教育の振興について
- ② 福祉事業について
- ③ 地域循環型の取り組みについて
- ④ バイオマス構想について
- ⑤ 農業の振興について
- ⑥ 行政の改革について

4. 久保田悦子議員（8ページ）

- ① 東日本大震災と防災対策について
- ② 自然エネルギーへの取り組みについて
- ③ グラウンドゴルフ場の整備について
- ④ 中学3年生までの医療費無料化について
- ⑤ 介護保険制度について
- ⑥ 国営川辺川利水事業について

5. 坂口幸法議員（9ページ）

- ① 東日本大震災について
- ② 教育行政の振興と発展について
- ③ 情報インフラ整備について

6. 吉瀬浩一郎議員（10ページ）

- ① 失業者に対する就労支援対策について
- ② 多良木小学校校舎モニュメントについて
- ③ 企業誘致について

7. 中村正徳議員（11ページ）

- ① 東日本大震災後の本町に与える影響について
- ② 少子化対策について
- ③ 道路整備について

8. 福島典生議員（11ページ）

- ① 東日本大震災への対応策について
- ② 町づくりの政策について
- ③ 多良木町身体障がい者福祉協議会の設置について
- ④ 情報公開の徹底について
- ⑤ 多良木火葬場の存続について



皆越秋廣議員

質問 町の基幹作物、タバコ、メロン、イチゴ等及び畜産農家については、多くの経費で

Q 農林業の具体的な振興策は

A 町独自の支援策

設備投資をしているのが現状である。農業は、食そのものを扱う産業であり、命を支える産業であるが、高齢化、後継者不足がいわれて

いる。町独自の支援策はできないか。

松崎農林課長 確かに言われます通り農業関係につきましては非常に機械化が進んでいる

Q 多良木町第五次総合開発計画の取り組みは

A 雇用の場の創出

質問 多良木町の人口及び世帯数が減少している現状ですが、その歯止め策と若者定住を図るために、雇用の場の確保が必要では。

町長 町としても歯止め策として、いろいろなことをやっています。子育て支援対策として、住宅等への優先入居、もう一つはやは



新設された時出団地(子育て支援住宅)

関係、あるいは施設あたりについて資金がかかる所です。設備投資関係にかなり農家の方も出資をして頂いており、町独自といたしましては、農業振興基金を作っています。そして町独自の支援策といたしまして、各部門ごとに行っている所です。



県下トップの葉タバコ

Q 税の収納対策について

A 全町職員で対応

質問 税務課の収納係が空席となっていて、税収納は大切な業務と思うが、今後も空席のままか。また税滞納の徴収対策は、どのようなものか。

町長 収納係が今の所空席になっていません。収納というのは、本当に大事だということは認識をしています。今職員が1人、後期高齢者の連合会の方に出向しており、来年帰って

くることになっております。収納対策につきましては、副町長を本部長に収納対策の本部を立ち上げて、全町職員で対応しています。

り雇用の場の創出が一番の問題であり、雇用の場をどうして作るかというところで誘致企業ということを挙げて

います。一次産業が基幹産業であり、一次産業に関する企業を誘致し、(※)六次産業として力を入れていきたいと

思います。

(※)六次産業…造語

一次産業(生産)、二次産業(加工)、三次産業(販売)を含めたものを六次産業と表現している。

Q 農業の振興について

A 専業農家の育成確保

質問 効率的かつ安定的な農業経営の育成・確保をするため、多様な担い手、女性農業者、高齢者対策、新規就農者対策の促進・参画の推進支援の取り組み及び農業生産基盤整備の見通し・主要作物等の振興方策・販路の拡大及び加工品開発、アン

テナシヨップの開設についての取り組みは。

松崎農林課長 農業振興の一番大事な所は、専業農家の育成と関わっています。育成としては、農業改善計画により、認定農業者として

他産業並みの労働時間・所得を目指す。女性農業者の活躍が非常に大事なので、女性部等を中心に研修を積み重ね、意見交換会等を通じながら参画されています。また広く農業経営者対策として、農

業アドバイザーを2名営業指導と販売促進員として配置し、全域を巡回指導しています。新規就農者対策については、23年度に2名の方が就農されました。農業生産基盤整備事業としては、県営大久保畑地総合整備事業をしています。24年度から主要作物の振興として、米消費拡大、メロンに

ついては、アンデス等の作付面積の拡大を計画しています。

町長 アンテナシヨップについては、コストの面からも球磨郡とか広範囲に積極的に取り組んでいきたいと思っています。



村山 昇議員

高橋裕子議員



Q 農林業の振興について

A 農林商工連携会議の設立

等についての考えは。7月上旬には農林商工

松崎農林課長 加工品

というのは非常に重要と思う。女性の会でも、加工品について非常な

熱意を持って取り組んでいる所である。また16ある集落営農組織の

中の法人「多良木のびる」による商品の販売促進への協力、そして

町長 専門的な職種として短期間・長期間と

Q 社会福祉協議会の事業について

A 施設の立て替えを検討

質問 社会福祉協議会の

主軸事業所である、デイサービスセンターの老朽化による維持管理、立て

替えの考えは。各種多様な福祉事業

に因應するためにも、支援センターとしての設立も

必要と思われるが、今後厳しい経営を予想される中、収入としての事業計

画、検討の考えは。



老朽化したデイサービスセンター(久米)

Q 老朽化した学童保育所について

A 第5次総合開発計画に掲げている

質問 老朽化して危険

な学童保育所の整備を計画されたことは評価

しています。ただ県教育委員会は、東日本大

震災を機に、学校耐震化の事業は前倒しして

早急に取り組むことを求めています。放課後の

子どもの安全を守るため、新築時期を早めることはできませんか。

西子ども対策課長 第

5次総合開発計画で掲げている平成24年度、

久米学童、平成25年度多良木小学童の保育施

設の改築計画を予定、建設箇所は今から検討

していくが、久米約30×40坪、多良木50坪を考

えています。町長 なるべく早く子ども達の安全確保の面

から検討したい。



老朽化した久米学童施設

Q 改定される介護保険制度について

A サービス低下にならないように努力

質問 政府は、介護給

付費を抑えるため、来年度の介護保険制度の

改定で、軽度の要介護

者を従来の保険サービスから外し、「介護予

防・日常生活支援総合事業」に移行させる考えです。人員・サービ

坂口幸法議員



Q P T C Aの組織化を

A 多良木中学校を拠点に

溝口教育長 今後の学校教育を進めていく上でP T C Aの組織化は、大変重要なことであるし、本町としても検討

質問 P T Aに地域住民(C o m m u n i t y)が加わった「親と教師と地域住民の会」の発足など、地域住民が学校教育に外側からの支援をするだけでなく、内側・外側の両方で参画することができ、家庭・学校・地域社会の三者が、子どもの教育について緊密に連携したP T C Aの組織化を。

して取り入れていかなければいけないと思っています。このP T C Aの組織化については3つのポイントがあるといわれており、1つは家庭・学校・地域社会が目標を1つにすること。2つ目は学校を開いて、地域の拠点になること。3つ目はP T C Aを母体として進めること。これら3つのことを念頭におき、中学校を活動の拠点として進めていければと思っています。



熱心に聴講するP T A

田中総務課長 光ブロードバンドの整備については多額の経費を

質問 高度情報化社会に向けて、情報インフラ整備(光ブロードバンド)は緊急な課題だと思われ、他町村の整備事業から見ても本町は遅れているような気がしています。そこで、本町としての現在の取り組みと今後の整備状況はどうなるのか。

本町の補助が必要ではないかと思っています。

町長 来年度から民設民営で取り組むということですが、民設についても経費的には若干の要するし、また将来に向けてのコスト、利用率等も考慮し、他町村の状況等も参考にしながら、民設民営を前提として平成24年度から整備することを検討しています。

Q どうなる情報インフラ整備は
A 来年度から民設民営を前提に整備

町長 「総合事業」については、国、県からの現段階で情報が少なく、軽度の支援者につ

ます。

町長 この施設はかなり老朽化しており、今後長期に渡って立て替えを含め検討していく考えである。今の状況と利用者の動向を考慮し、早急に話をしていきたい、計画を練って

いきたいと思う。運営については、確かに平成22年度の決算で赤字が出ている。一つの原因は、民間で同じようなサービスが増えてきていること。事業計画については今後

検討していくが、今年の事業計画の中では新しい事業というのは計画していない。今以上に研修等を積みながらやっていきたい。

久保田悦子議員



ス・利用料の基準も市町村任せの「総合事業」

では受けたい介護が受けられない恐れもあります。どう対応されるのか。

いて様々なサービスが組まれるように聞いております。ただサービスが低下しないよう、介護者の方の要望に添えるような状況を作りたいと考えています。

Q 企業誘致について

A 今後努力したい



吉瀬浩一郎議員

質問 町長は所信表明

にある「成果目標」「厳格な評価」とは政治的責任の重さという意味で、町のトップである町長、或いは副町長にこそより強く要求されてしかるべきと思う。企業誘致を公約に掲げ、具体的な誘致活動をされていると思うが、22年中に訪問された企業名をすべて伺いたい。

町長 22年中に訪問した企業は1社である。愛工房という東京の会社を訪問した。ここは杉の黒芯を低温乾燥して高値で売っている。企業誘致のための訪問は（議員から23年度中には少なくとも5社以上の訪問を約束してもらいたい。との提案があったが）、5社といわずやっていきたいので、議員諸氏も情報を寄せてもらいたい。足繁く通って結果を残したいと思っているので、協力をお願いしたい。



Q 子ども手当について

A 独自の補填は難しい

質問 子育て支援の環境として、現在1子当たり1万3千円の子ど

も手当が支給されています。手当の是非について論議が成されて

いますが、もし昔の児童手当に戻った場合、少子化問題に更なる悪

Q 多良木小モニュメントとは？
A 本物を子ども達に見せたい

質問 多良木小学校に設置のモニュメント委

託料の額、発注時期、依頼先、現在の進捗状況を伺いたい。このような時期に六百万円もモニュメントを発注するという町長の考えは、住民の皆さんの賛同が得られるとはとても思えない。作成を白紙に返すという選択肢はないか。

宮本教育振興課長 委

託料は6百万円、依頼する相手方は日展審査員の崇城大学中村賢次教授、7月中旬頃に契約を交わす予定。来年2月頃の完成という流れになる。

町長 結論からいうと絵画でいきたい。現物で本物を見てもらい、その絵が訴えるものを子ども達に感じてもら



設置予定の場所

いたい。どうして多小だけにという議論もあったと聞いているが、全てが公平にいくわけでもないし、なるべくそういう差がないように学校に対する配慮は今後もしていかなければと考えている。

福島典生議員



Q 多良木火葬場の存続を

A 経費的なもので

質問 存続するか、合併になるか、今年中に

はどちらかの結論を出さなければならぬと思う。現在の考えは。

町長が考えているあさぎり町の葬斎場への合併案を、町民の皆様

中村正徳議員



質問 道路整備について、国道219号線駅前交差点改良工事の状況と今後の見通しについて、この事につきまして、用地買収90%、(※)進捗率60%で供用開始時期は、何時かわからないということですが、早

A 平成25年までに完成予定 **Q** 駅前交差点改良工事の状況は

町長 今の所難しいと影響があると懸念致します。その差額分の一部でも町独自でも不足分を補うつもりはないか伺います。

町長 今の所難しいと... 思う。報道でもこの件については子育て世代の方々から貰うのは有難いが、後世にツケを回していくということ... 意見も両論あり、慎重に考え、児童手当になつたからといって子育てと同じような金額になるように増やしていくのはどうかと思われま

町長 駅前交差点の進行状況は19年から始まり、25年に一応完成予定で当初から予定している。スケジュール的に遅れていない。財政上若干の遅れはあるが、今の所計画通りで、本町だけ遅れているとは認識していない。上京

期着工に向けて町長の政治的手腕が足りないのではないかと思うが、どう対応されるか伺います。



駅前交差点の現況

(※)進捗：物事が進みはかどる。

の折も要望は続いている。

A 意向調査を実施して **Q** 多良木町身体障がい者福祉協議会の復活を

町長 金額的な面が最大の問題で、効率を考えた時には、私は中球磨葬斎場(天翔苑)の方に任せさせて頂いた方がよいと思っております。理由としては、今後の維持管理費につ



多良木火葬場 (霊雲苑)

に理解してもらうためにどのような方法を考えているのか。... いて、3町の共同負担という観点から町民の皆様に説明をさせて頂きたいと思っております。

質問 平成18年4月に解散して以来協議会がないが、身体のご不自由な方に心を配り、気を配り、健常者とともに支えあって生きる喜びの場を提供していただくのが行政の役割ではないのか。

平川町民福祉課長 協議会の復活につきまして、旧役員の皆様の方に復活を打診いたしましたけれども、旧役員での復活の意思はない旨の回答をもらっている所でございまして、新役員体制で復活が可能であれば、多良木町

平成23年度 多良木町議会主軸事業陳情・要望

多良木町及び郡内に大量に降った一昨日までの激しい雨により町内外で土砂崩れが発生し、県選出国會議員への陳情そのものが危ぶまれていましたが、7月7日からの週間天気予報は曇りであったため小雨の中を出発しました。

一方、陳情の前日、6日午後の衆議院予算委員会で菅首相は原発の再稼働問題を受け「新たなルールを作り、国民が納得できる判断が出るよう指示している」と発言、点検中の原発の運転停止が長期化の見込みとなり、政局も首相への早期退陣圧力をはらんで迷走するなか、正副議長、町長を含む14名により7日（木曜日）、13時30分、衆議院、参議院の2班に分かれ県選出国會議員への陳情を行いました。



金子衆議院議員に陳情要望

面接時間は予算委員会開催中であつたにもかかわらず十分な時間を用意していただき、有意義な陳情要望になったのではないかと思います。陳情は当初予定していた13時30分から15時30分の予定時間を超え、17時00分に終了しました。主軸事業についての陳情要望は下記のとおりです。10名の県選出国會議員は3名を除き（3名は秘書による対応）、7名の国會議員自身で直接対応していただいたことは特筆に価するのではないのでしょうか。



松村参議院議員に陳情要望

その所見によると、国においては被災地復興を目指す1兆9,988億円の第二次補正予算と公債発行特例法案、それに続く10兆円を超えると予想される第三次補正予算で東日本大震災に対する被災地支援を中心とした予算が組まれる見通しであるため、他の地方への予算の配分については今なお不透明であるとの認識が示されました。しかし、7名の県選出国會議員には、いずれも多良木町の要望を熱心に聴いていただき、予算獲得に努力することを約束していただきました。（吉瀬）

多良木町主軸事業
陳情・要望事項

1	国道の整備に必要な予算の確保を図られたい
2	地方道の整備に必要な予算の確保を図られたい
3	川辺川土地改良事業の推進を図られたい
4	農業生産基盤の整備に必要な予算の確保を図られたい
5	増谷地区給水施設整備事業に必要な予算の確保を図られたい
6	治山事業の推進を図られたい
7	森林・林業・木材産業づくり交付金事業の推進を図られたい
8	森林の再生に向け間伐等の促進に対する補助制度の創設を図られたい
9	有害鳥獣による被害防止に関し、抜本的な対策を図られたい

那須野ヶ原クリーン・エネルギー研修

今回の地震と津波による原発事故の教訓は、事故の影響が一国の経済をもおびやかす高いリスクを伴うものであることを教えてくれました。このような中、環境に優しいクリーン・エネルギーとして注目を集める小規模水力発電の研修のため、栃木県那須塩原市の那須野ヶ原土地改良区連合の水力発電所を視察しました。

発電の方法は傾斜地のある地形や、一定の落差のある溝などを利用して、大型の土木工事を伴わない簡易な発電設備や直径6mの水車等を設置するもので、100KW以下の水力発電方式は「電気事業者による新エネルギー等の利用に関する特別措置法」の対象ともなっています。平成4年度に那須野ヶ原発電所、平成17年度に百村（もむら）発電所、平成20年度に藁沼（ひきぬま）発電所がそれぞれオープンし、現在7基が可動しています。水土里ネット那須野ヶ原で作る電気のエネルギー自給率は41%、平均年間総出力478KWアワー、CO²の年間削減量3,070トン、瞬時に使用できる一般家庭の電力量が499戸分に相当し、かつ、一年間に消費する家庭の電力量が約1,338戸分となっています。

那須野ヶ原水ウオーター・パークは夜になるとLED照明が灯り、夜景を楽しむこともできます。電気自動車の充電施設などもあり、「水の多機能性展示ゾーン」として、また、住民の皆さんのための親水公園としても利用されています。傾斜地や溝の落差を利用するという方式は、多良木町でも適用が可能と考えられますので、国の補助事業など可能性を探る価値があると思います。



ウオーターパークの直径6mの水車

（吉瀬）

全員協議会報告

(5月31日、6月14日・17日・28日)

4月の統一地方選挙に伴う5月11日の初議会以降、現地調査を含め全員協議会を4回行いました。

主な協議内容は次のとおりです。

① 多良木火葬場についての経過報告

昭和52年に建設された多良木町の火葬場は、本年度で33年を経過し、老朽化に伴い、修繕用部品の調達等が困難となっていることから、今後の運営の在り方についてを協議しました。今後の方法として

- 1) 現在の火葬場を修理しながら運営
 - 2) 上球磨3町村で共同建設
 - 3) 多良木町単独での建設
 - 4) 免田葬斎場(天翔苑)への加入
- 以上4方法の中から検討することになりました。

② 多良木小学校校舎モニュメントについての経過報告

本年2月に出来上がったばかりの新校舎の正面玄関の壁に、大学教授に製作を依頼して絵画を設置するものです。



世代間交流施設予定地

③ 世代間交流施設整備事業について

球磨川河川敷(里の城大橋付近)に芝生を張り、子どもから年配の方まで利用することができる施設(芝生広場、駐車場、トイレ棟など)を整備するものです。

④ 県立多良木高等学校存続に関する要望について

平成18年に策定された熊本県立高等学校再編整備計画に基づき、平成25年度から球磨商業高校・南稜高校・多良木高校の3校が2校に再編されることから、上球磨に高校を残そう協議会・多良木町・多良木町議会の3者で存続についての要望書の検討を行いました。



上球磨の拠点校 多良木高校

⑤ 東日本大震災被災自治体への派遣職員報告会について

3月11日に発生した東日本大震災の被災自治体の復旧応援のために、上球磨消防署職員や本町職員が派遣された報告会の実施について協議

⑥ 上京陳情及び先進地行政視察研修について

本町の平成23年度主軸事業の陳情・要望内容の検討及び行政視察内容の検討

⑦ 平成23年度多良木町主軸事業現地調査

平成23年度に実施される本町の主軸事業等(多良木学園改築事業など13箇所)について、議会全員で現地調査を行いました。

ブルートレイン「はやぶさ」
に乗ライダー来る!



議会の呼びかけによる東日本大震災被災地への派遣職員報告会

平成23年6月28日(木) 19:00～ 多良木町多目的研修センターに於いて

- ◆ 被災地自治体事務支援チームとして、東松島市に
教育振興課：永井孝宏さん 農林課：平野渉さん
環境整備課：金子貴範さん
- ◆ 保健医療チームとして、南三陸町に 健康・保険課：鹿川優さん
- ◆ 緊急消防援助隊として、宮城県気仙沼市から若林区へ（仙台市消防局泉消防署に宿泊）
上球磨消防署：第2次隊長 澤田光徳さん(報告) 分隊長 岩野昌英さん
隊員 岡村智志さん 廣田裕介さん
中神英章さん 葉山修英さん

災害時に於いては広域的視野を持った災害対策を検討すべきであること。また復興には長い歳月を要する状況にあることを考えると、その中心となる地元行政の意向を最優先にして支援に関わる必要がある。数日の実活動であったが、これで良かったのか、他に何か出来たのではという思いがずっと続いた。自主防災の大切さ、協力の大切さということを重ね実感した。

被害の甚大さを現地で目の当たりにして絶句してしまうという救援活動の中、被災地の方々からは、たくさんの感謝の言葉を戴いたという。人と人との絆の大きさ、力強さをしっかりと受け止め、長期に渡る支援活動をしていくことに意味があると思う。

支援活動を通して、まずは地域の支援について、自分には何が出来るか考え、出来ることから始めてみましょう。

被災地への職員派遣は続いています。お疲れさまです。
ありがとうございます。(高橋)



報告会を熱心に聞き入る町民

編集後記

未曾有の東日本大震災、福島原発の事故、未だ生々しく復興の道のりの遠さに、私達の暮らしを含め、将来この国はどうなるのか、どんよりとした曇り空のような気持ちの中で、特に今夏は電気事情も悪く、これからの猛暑に立ち向かわねば成りません。もうこれ以上の便利はいらぬと言う人もいます。我々は快適な環境に慣れ過ぎて、今回の出来事が私達への警鐘になっているのではないかと思います。

新聞欄に、「冬の寒さは何とかなるが、夏の暑さは耐え難い」、先人達は様々な工夫の中生きてきて、今またその知恵が必要と成りました。「温故知涼」の四字は古きを訪ねて涼を知る、グリーンカーテンや打ち水、現代版ステコに人気が出ています。さて私達「議会だより」の編集委員も改選により新しくなり、より一層皆様に親しまれ分りやすい誌面作りに全員が張り切っています。今回よりサブタイトル「こだま」として、議会と皆様との間に情報のキャッチボールが出来るよう付け加えました。今後共よろしくお願い致します。(瀬崎)

広報特別委員会構成

- ◎ 瀬崎 哲弘
- ◎ 坂口 幸法
- ◎ 吉瀬浩一郎
- 魚住 憲一
- 村山 昇
- 高橋 裕子